

私の都市再開発に関する実務経験の内容は、下記の通りです。  
この申告書の内容が真実と相違することが判明した場合には、合格が取り消され又は登録が抹消されても異存ありません。

10月29日(金)  
申込締切

2021年 10 月 17 日  
実務経験審査申込者氏名 佐 藤 誠

実務経験審査 受験番号	
----------------	--

筆記試験合格年 <span style="color: red; font-weight: bold;">2021</span> 年	筆記試験 受験番号	<span style="color: red; font-size: 1.2em;">A</span>	<span style="color: red; font-size: 1.2em;">○</span>	<span style="color: red; font-size: 1.2em;">○</span>	<span style="color: red; font-size: 1.2em;">○</span>
大学院名 課程 (専攻)	在学期間(年・月～年・月)		研究内容		
(実務経験1年に該当)					
勤務先 (部課名)	業務従事期間			業務名及び業務内容	
	年・月～年・月	年	月		
○○○(株) 開発部企画課	2018年4月～ 2019年3月	1	0	□□市□□地区再開発基本構想策定業務を担当。	
同上	2019年4月～ 2021年10月	2	7	□□市□□地区再開発基本計画策定業務を担当。	
実務経験の合計年数 (上記記載の業務について業務従事期間が重複した場合でも、 その期間を延べ計算することはできません。)		3	7		

記入上の注意

1. 申請者は  太枠内だけに記入すること。
2. 大学院(修士課程又は前期博士課程)修了を実務経験に含める場合(実務経験年数1年間に該当)は、その期間・研究内容を該当の欄に記入し、その研究概要を「実務経験レポート」に必ず記述して下さい。
3. 業務従事期間は、2021年10月まで記入することができる。
4. 業務従事期間中でも長期療養等の理由で実務についていない期間は、除いて記入すること。
5. 記入欄が不足した場合は、適宜、この用紙をコピーして入力すること。

2021年度 再開発プランナー試験 実務経験申告書 <記入例 2(大学院の期間を実務経験に含める場合)> (様式1：実務経験申告書書式)

私の都市再開発に関する実務経験の内容は、下記の通りです。  
この申告書の内容が真実と相違することが判明した場合には、合格が取り消され又は登録が抹消されても異存ありません。

10月29日(金)  
申込締切

2021年 10 月 17 日  
実務経験審査申込者氏名 **鈴木 智子**

実務経験審査  
受験番号

筆記試験合格年 <b>2021</b> 年	筆記試験 受験番号 <b>A</b> ○ ○ ○
大学院名 課程 (専攻)	在学期間(年・月～年・月) 研究内容
○○○大学大学院 理工学研究科建築工学専攻	2017年4月～2019年3月 (実務経験1年に該当) 市街地再開発事業の公益施設におけるパブリックデザインに関する研究
勤務先 (部課名)	業務従事期間 業務名及び業務内容
○○○㈱ 開発部企画課	年・月～年・月 年 月 2 7 □□市□□地区再開発基本計画策定業務を担当。
大学院の期間(実務経験1年) + 2年7ヶ月 = 合計3年7ヶ月	
実務経験の合計年数 (上記記載の業務について業務従事期間が重複した場合でも、その期間を延べ計算することはできません。)	<b>3</b> <b>7</b>

「  
記1. 申請者は  太枠内のみ記入すること。  
入2. 大学院(修士課程又は前期博士課程)修了を実務経験に含める場合(実務経験年数1年間に該当)は、その期間・研究内容を該当の欄に記入し、その研究概要を「実務経験レポート」に必ず記述して下さい。  
上3. 業務従事期間は、2021年10月まで記入することができる。  
の4. 業務従事期間中でも長期療養等の理由で実務についていない期間は、除いて記入すること。  
注5. 記入欄が不足した場合は、適宜、この用紙をコピーして入力すること。  
」